

事業概要【地域循環型白鷹ウェルネスツーリズム推進事業】

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	75,000千円 (20,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	観光分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 町内観光資源を循環させた滞在型の「ウェルネスツーリズム」の確立により、観光消費額の増加を図る。 町内観光資源の磨き上げやマーケティングに基づく観光コンテンツの開発、情報発信により持続可能な観光事業の基礎をつくる。 						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <p>①基礎調査・分析 15,000千円（委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> 宿泊や体験可能な施設等の観光事業者に対する市場調査・現状分析業務 既存イベントの市場調査・現状分析業務 町民へ対するアンケート調査等による観光資源の洗い出し業務 その他、ウェルネスツーリズムの構成要素なる町内資源調査業務 <p>②プラットフォームの構想策定 4,000千円（委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ステークホルダーの洗い出し・体系化のための支援業務 ターゲットの設定のためのコンサルティング業務 ウェルネスツーリズム構想策定支援業務 <p>③推進組織の構想策定 1,000千円（委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> プログラムの構想の推進とステークホルダーとの合意形成を行うためのコアとなる組織の構想策定支援業務 専門知識を有する人材の確保支援業務 					<ul style="list-style-type: none"> 町内の市場調査、分析  資源の洗い出し・磨き上げ ウェルネスツーリズム構想の策定 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 推進組織の立上げ  ステークホルダーとの合意形成 プラットフォーム開発 体験型プログラムの造成 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 滞在型観光の確立！  観光事業の持続性（稼ぐ力）UP！ 観光事業の組織力UP！！ 	
地域の多様な 主体の参画	<p>観光協会や商工会等と連携を図ることにより、ステークホルダーとのスムーズな合意形成と町内全体での事業展開に取り組む。</p> <p>移住施策と連携し、首都圏でのニーズ等を適宜共有するとともに、町外イベントを実施し、体験型観光コンテンツを活用した事業展開に取り組む。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<p>①町内観光消費額（+151.5百万円）</p> <p>②観光客数（+230千人）</p> <p>③本事業で実施するプラットフォームの登録者数（+1,100人）</p> <p>④本事業で実施する観光コンテンツ数（+27事業）</p>

事業概要【女性・子育て世代・若者に選ばれる「暮らし」と「しごと」ブランディング事業】

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	239,289千円 (35,316千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的・効果	<p>・近年の0～4歳児の転入超過の傾向を本町の『強み』としてブランディングすることに加え、町内企業に働きかけて、若者・女性に選ばれる職場づくりに取り組む。また、若者・女性に選ばれる暮らしには、住まいが必須であることから、町が大規模に投資し、子育て世代、若者に選ばれる住居の整備を行う（本事業では、移住お試し住宅を整備）。</p>						
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○女性等に対する町の子育て施策のブランディング ・子育て世代、女性目線での暮らしやすさの取材調査・戦略作成 3,900千円（委託料） ○女性等に選ばれる職場の実現 ・企業向けアンケート調査・ヒアリング・戦略作成 5,000千円（委託料） ・企業への働きかけセミナー 1回 500千円（委託料） ・親世帯や保育所のワークショップ 1回 600千円（委託料） <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○女性等に選ばれる暮らしの実現（住まいの確保） 若者移住促進お試し住宅整備 ・用地造成 25,316千円 					<p>女性・若者に選ばれる職場</p> <p>若者等移住お試し住宅整備</p> <p>子育て施策の充実</p> <p>一体的にブランディング</p> <p>女性・若者に選ばれるまちづくり</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>本事業の趣旨に賛同した地元企業と随時情報交換を行い、モデル的に女性等に選ばれる職場づくりに取り組む。</p> <p>町内保育施設や大学等の専門化の視点から事業改善方策の意見を吸い上げつつ、他の関係機関と連携しながら、事業内容への反映に取り組む。</p>					KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①本町の人口数（社会減数の抑制）（+4人） ②0～4歳の転入者数（+10人） ③20～24歳の転出者減少数（+10人） ④本事業によりイメージアップに取り組む企業数（+5社） ⑤本事業で整備する住宅への入居者数（+8人） ⑥本事業で整備する住宅入居者の満足度（+80%）

事業概要【～新たな人の流れで町を活性化～ 多様な人材還流促進事業】

申請者	山形県白鷹町					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	50,500千円 (18,500千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	地方への人の流れ
目的・効果	<p>移住者として本町の定住人口となるUIターンはもちろんのこと、定住には至らないものの、本町に関心を持ち、継続的に多様な形で関わる関係人口を増加させる。それら関係人口が実際に町と関わって地域住民と交流を重ねるうえで、地域課題の解決や地域の担い手としての役割を担うというような新しい人の流れを形成する。それらの動きを通じ人口減少によって機能低下した町を活性化する新しい人材として活躍できる環境を構築する。</p>						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○情報発信基盤整備と都市部等の関係人口が町に関わり続ける仕組み構築（委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信基盤整備1,000千円 ・登録ツールの構築1,000千円 ・都市部における若者や町出身者との交流イベント開催3,500千円 <p>○移住支援のワンストップ窓口（一元管理）化と移住体験の充実（委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・移住支援のワンストップ窓口化4,500千円 ・よりリアルな移住体験の提供 5,500千円 <p>○外国人の受入体制整備（委託料）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人の受け入れ体制づくり 3,000千円 					<p>➢ 人口減少による人材不足・地域づくりの担い手不足に対応するため、移住・定住につながる関係人口構築を推進</p> <p>➢ 今後、地域産業の担い手として期待される外国人の受入体制整備</p>	
地域の多様な 主体の参画	<p>農業法人・農業者等の一次産業生産者と連携を図ることにより、都市部住民と継続した関わりを持つことができるイベントやツアー開催を実施する。 町内をフィールドワークの場として活動してきた大学生とも連携し、事業の企画運営において若者の視点を反映し事業展開に取り組む。</p>					KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①地域へのUIターン数（+15人）</p> <p>②本事業で実施する関係人口登録者数（+60人）</p> <p>③本事業で実施する移住体験者数（+8人）</p> <p>④町内に住民票を有する外国人数（+10人）</p>

事業概要【『食と農村交流広場』と連携した女性・若者が創り出す農作物等高付加価値化事業】

申請者	山形県白鷹町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	654,101千円 (31,229千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業	✓	インフラ整備事業	事業分野 農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> 6次産業化加工施設を整備することにより、6次産業化への展開やその過程での各産業間の連携や交流を図り、農業従事者の農業所得の向上や新たな特産品開発、通年での仕事の創出を目指す。 新たな付加価値創出へ挑戦する機会をつくることで、本町の資源を活用した6次加工品を開発し、域内の経済循環はもとより、将来的には国外を視野に入れた域外への市場開拓に向けた取組を目指す。 取り組む女性や若者が地域を盛り上げ、定住や交流人口の増大など楽しい地方の姿の具現化を目指す。 					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業】（事業はR8年度から開始）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○6次産品のマーケティング調査 ○6次産業商品開発セミナー ○6次産業化チャレンジ支援事業補助金創出 ○アドバイザー（（仮）ブランディングコーディネーター）設置 ○ECサイト構築 <p>【拠点整備事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○白鷹町6次産業化推進拠点施設用地の造成工事 ・工事費 31,229千円 					
地域の多様な 主体の参画	町内農業者が施設指定管理者等のサポートを得ながら、地元農産物を活用した商品開発に取り組み、販路開拓を推進するため、農協等、地域内での連携を促進する。 新商品の試作品を施設内で販売することにより、購入者（特に女性や若者）の意見を吸い上げ、ブラッシュアップを図る。				KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none"> ①農業従事者の（+70万円） ②新規農業従事者数（+14人） ③施設使用率（+80%） ④新商品の開発数（+3件） ⑤新たな販路の開拓数（+3件） ⑥本施設での雇用者数（+3人）

事業概要【子育て支援・健康応援推進事業】

申請者	山形県白鷹町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R6-R8年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	33,500千円 (16,000千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 まちづくり分野
目的・効果	<p>・地域産業、地域文化を支える人材の確保に向けては、町内の子育て世代や生産年齢人口が、さらには高齢者が活躍することが必要となっている。その基盤となるのが健康であることから、子どもから高齢者までの全町民が自分に合った健康づくりを実践できる仕組みを構築する。</p>					
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<ul style="list-style-type: none"> ○関連DXツールの試験導入 5,000千円（委託料） ○自身の健康データ利活用デジタルツール構築 3,000千円（委託料） ○町立病院と連携した人間ドック受診から生活習慣改善トータルサポートプログラム構築 3,000千円（委託料） ○SNSでの精密検査受診勧奨、生活習慣改善指導フォローアップの仕組み構築 2,000千円（委託料） ○自助意識の醸成・活躍するボランティア・高齢者等の支援の仕組み構築 3,000千円（委託料） 					
地域の多様な 主体の参画	<p>本町の健康増進等に関する事業を円滑に推進するため、関係者・有識者等で組織する「白鷹町明るい健康都市づくり推進会議」及び子どもの保護者や子育て支援に関する関係機関・学識経験者で組織する「子ども・子育て推進会議」にそれぞれの代表者が参加していることから、当該会議において意見聴取を行うとともに、評価いただき事業へ反映していく。</p>				<p>KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の人口数（▲1,252人） ②この町でこどもを産み育てていきたいと思う人の割合（+12%） ③要介護認定率（▲0.5%） ④運動習慣者の増加率（+5%）

事業概要【日本の紅（あか）をつくる町推進事業】

申請者	山形県白鷹町				初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R5-R7年度				期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	17,566千円 (5,900千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野 農林水産品の輸出拡大等の農林水産分野
目的・効果	<ul style="list-style-type: none"> ・紅花生産の継続を図り、紅花での観光振興を図る ・安定した生産環境の維持を図る ・紅花文化の継承を図る ・紅花を活用した、白鷹ブランドの確立を図る 					
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ul style="list-style-type: none"> ○紅花畑の栽培維持及び加工品の生産向上に係る支援 <ul style="list-style-type: none"> ・紅花栽培の技術に関する課題検討・調査・研究及び対策（委託料） 1,000千円 ・紅花栽培及び一次加工品生産に係る支援（委託料、補助金） 3,700千円 ○紅花関連商品の開発費 <ul style="list-style-type: none"> ・商品開発支援に係る費用（補助金） 100千円 ○紅花栽培の情報発信と紅花PRイベントの開催（委託料） 900千円 ○紅花栽培者と紅花摘み手等をつなぐオンラインを活用したマッチングシステムの構築（委託料） 100千円 				実施体制等 <pre> graph TD A[白鷹町] -- 委託料 --> B[日本の紅をつくる町推進協議会] B --- C[商工会・観光協会等から構成する推進主体] B -- 補助金 --> D[紅花生産者等] </pre>	
地域の多様な 主体の参画	観光協会や商工会等と連携し、商品開発に取り組み、観光資源として活用する。町内小・中学校及び高校と連携し、児童・生徒が紅花の積み手として、本事業への参画を図る。				KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ul style="list-style-type: none"> ①紅花一次加工品の生産量（+147kg） ②紅花関連商品の売上金額（+250,000円） ③紅花関連イベント参加者数（+400人） ④修景用紅花栽培面積（±0a）